



☆ AWC事務局便り 3月号 ☆

国際女性デー2019

3月8日は国連が定める国際女性デーです。1904年3月8日に、ニューヨークで女性たちが婦人参政権を要求してデモをした日を記念した日で、1975年（国際婦人年）に国連がこの日を広く女性の社会参加を呼び掛けるための記念日として、「国際女性デー」と決めました。ロシアではこの日は祝日になっており、イタリアでは女性に感謝する日として、男性が女性にミモザの花を送るなど、世界各地で女性の自由とジェンダー平等などを目指して色々なイベントが開催されています。

AWCは、3月9日に開催された国連ウィメン日本協会よこはまの「国際女性デー2019」に参加しました。子どもたちのダンスや地域のグループによる管楽器の演奏などが披露され、吉本芸人のビスケットを中心にしたクロストークでは、SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を達成するために、一人一人が考えていかなくてはならない身近な課題などについて、参加者全員で考えました。現在は小学生も学校でSDGsについての学習が行われているということです。私たちもしっかりと勉強していかねばならないと通感しました。

5 ジェンダー平等を実現しよう



おたがいさまプロジェクト

おたがいさまプロジェクトでは、昨年来チェンライ県の親と住むことが出来ない子どもたちのための寮を支援しています。

今年に入り、寮にいるすべての子どもがアルバイトをすることになりました。子どもたちが立ち立って、生きていけるように是非頑張りたいところですが、しかし、国籍のない山地民の若者を搾取するようなバイト先もあり、心配は尽きません。これまでの成育歴の中で、親や周りの人たちから大切にされるという経験を持っていないために、一箇所に馴染んで生活する習慣も身につけていない子どもたちなのですが、このプロジェクトを実施して下さっているギー先生は、子どもたちの将来を見据えて、子どもたちに寄り添いながら、信頼できるおとながいる、居場所があるということを知ってもらうことを第一に考えて、粘り強く面倒を見てくださっています。

私たちも子どもたちの未来が少しでも明るいものになるように応援し続けていきたいと思っています。

逗子トモイクフェスティバル2019

共に学び、共に育つ「共育（ともいく）のまち」の実現をめざし、逗子で多彩な展示やワークショップが開催されるトモイクフェスティバルに今年も参加します。

AWCでは、タイの産地民の民族衣装の試着体験や、タイビーズを使ったアクセサリー作りのワークショップと、民族模様の手作り品の販売を行います。子どもにも簡単に作れるアクセサリーは昨年も大人気で、子どもたちの個性あふれる作品がたくさん出来ました。今年は「できることをふやす」のテーマに沿って、タイの山地民に関するクイズなどもあります。



クイズに挑戦して、アクセサリーを作り、民族衣装を着て北タイを楽しんでください。

みなさまのご来場をお待ちしています。



日時：3月23日(土)・24日(日) 10:00～17:00

会場：逗子文化プラザホール 2階展示スペース